

適期作業とブロックローテーションによる安定した生産 福戸地区生産組合（新潟県長岡市）

生産組合の経営概要

基幹作物：大豆（エンレイ、里のほほえみ）30.4ha、大麦15.5ha（令和4年産）
大豆の上位等級比率（1・2等計）12.6%（新潟県平均10.9%）

沿革：昭和50年代後半の県営圃場整備の汎用水田義務転作を契機に、**集落単位の
麦大豆転作組合で栽培を開始。**

平成9年に5つの町内の転作組合と汎用コンバイン受託組合を統合して設立。
現在は、構成農家50戸のうち**中心的農家10名程度で大豆・大麦の栽培管理**
を行っている。組合では大豆と大麦の生産を担い、水稻は個々の農家が生産。

特徴：**排水対策、適期は種、適期防除等の基本技術の徹底**に加えて、**地区単位の
ブロックローテーション**を行うことで、**高単収かつ効率的な大豆生産を実現。**



◆栽培のポイント

- ・水稻とのブロックローテーションを行い、**大豆は単作で3～4年に1作のみ。**
- ・**弾丸暗渠、周囲明渠による排水対策**に加え、**湿害防止のためのアップカットロータリーによる高畝栽培**を実施。
- ・播種、病害虫・雑草防除等の適期作業など、**基本技術を確実に実施。**
- ・**播種前後の除草剤散布**により、生育期間中の**雑草発生を抑制**し、大豆の生育及び収量を確保。
- ・カルシウム要求量が多い大豆の特性に合わせて、**適正な苦土炭カル施用**を実施。
- ・**作業班体制**により、**適期作業**が実施できるよう工夫。

◆経営のポイント

- ・圃場を団地化し、**高効率の機械を積極的に導入**することで、オペレーターによる**効率的な作業**を実現。
- ・無人ヘリによる**病害虫防除の委託**や**JAの共同乾燥調製施設の利用**により、**コスト低減**を実施。
- ・**大豆作業は組合、水稻作業は個人と分ける**ことで、**効率的な経営**を実現。

今後の展望

- ・**単収250kg/10aを目標に、高い収量と品質を両立した大豆生産**を行い、**高水準で安定した収益の確保**を目指す。

大豆の単収

